

## 目 次

## 序 文

## 第一部 総説

第1章	「通級による指導」の意義と将来展望	1
第2章	「通級による指導」の場における教育的援助と教師の役割	5
第3章	「通級による指導」の場における個に応じた教育	9
第4章	通級指導教室における指導・援助内容と方法	16

## 第二部 通級による指導の場における指導・援助内容

第1章	指導・援助用カードの一覧と活用方法	21
	1 ガイドブックの構成とカードの配列	
	2 個に応じた指導内容・方法策定のためのカードの活用法	
	3 指導・援助カードの表題一覧	
第2章	子どもへの指導・援助	33
	1 子どもへの指導・援助用カードの構成と活用について	
	○ 指導・援助カード	
第3章	親や家族への援助・情報提供	163
	1 難聴幼児通園施設での実践から	
	2 聴覚障害児の間こえを理解することへの援助	
	3 早期療育を受けた母親へのアンケートから	
	○ 指導・援助カード	
第4章	通常学級教員や学校教職員への情報提供・連携	192
	1 小学校での実践から	
	2 中学校での実践から	
	○ 指導・援助カード	
第5章	地域社会、関連機関との連携や情報提供のあり方	219
	1 言語障害教育の立場から	
	2 聴覚障害教育の立場から	

---

---

**第三部 通級による指導の実際**

第1章	特別な教育的援助を必要とする子どもへの教育実践	229
1	特別な教育的ニーズに応えるための体制づくりに関する実践	
2	通常の学級における特別な援助を必要とする児童への 対応と体制づくり	235
第2章	通級による指導の場における個別指導計画の作成と教育実践	242
1	難聴児に対する指導事例と配慮事項	
2	母子分離の未熟さが構音の発達に影響していると推察される子への援助	
3	難聴通級指導教室での教育実践	
4	難聴児に対する自校内通級と校外通級の実践から	
5	通級による指導の場における子どもとの関係の変化を表現する 記録法の検討	
6	暮らしの中での関係を持ち込んだ通級指導教室	
第3章	地域の社会・教育資源としての通級指導教室の役割と実践	275
1	ことばの発達を促すための援助	

---

---

**あとがき**